

令和4年2月3日に産業建設委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

報告事項

・溝口踏切拡幅事業について

～内容～

令和4年3月工事完了にあたり進捗状況、協定金額の変更等について報告を受けました。

～質疑～

問：協定金額の減額要因は何か。

答：減額となった主な要因は、軌道工事における踏切撤去で、撤去範囲の再精査や踏切新設での工事日数の精査、また、電気工事における電力設備新設で、現地精査によって活用可能な既設柱を生かすことでのケーブル延長等が減ったためである。

・災害危険区域の指定について

～内容～

岡山県の実施する築堤等のハード対策に加え、高梁川洪水から住民の生命を守るため土地利用規制をかけることについて報告を受けました。

～質疑～

問：災害危険区域の指定はこの3箇所だけで他に該当する地域はないのか。

答：ほかにはない。3箇所の災害危険区域の指定は、県の堤防整備等の条件であり、高梁川出水が起こるところについて指定をして、建築の制限をかけるものである。他の地区は災害危険区域に該当しないように河川のハード整備を強く要望していきたい。

・市営住宅集約化事業の進捗状況について

～内容～

老朽化した住宅や土砂災害警戒区域内の住宅から転居してもらい、市営住宅の集約化事業について報告を受けました。

～質疑～

問：移転が完成したら跡地利用は何か考えているのか。

答：廃止になる団地は順次解体し、跡地利用は他部署とも協議しながら、民間への売却も含めて有効な活用を図りたい。

・総社市下水道事業経営戦略について

～内容～

経営戦略の概要、経営の基本方針、投資・財政計画等について報告を受けました。

～質疑～

問：施設の老朽化が進むなかで、今後の設備投資はどう考えているか。

答：ストックマネジメント計画という国の指針に従い、総社の処理場を中心に長寿命化対策を行っている。投資できる額の上限は決まっているので、効率の良い改築更新や修繕を行っていききたい。

調査事項

・国民宿舎サンロード吉備路の修繕計画について

～内容～

国民宿舎サンロード吉備路の老朽化に伴う修繕や、リニューアルに向けた検討について調査するもの。

～質疑～

問：市の観光拠点にするために壮大な基本計画を立ててはどうか。

答：観光客だけでなく市民にも親しまれる施設として大きな視点から捉え、最大限魅力ある観光拠点施設にリニューアルしていききたい。

問：リニューアル期間はどれくらいを想定しているか。

答：来年度、まず実態調査を行ったのちに、基本計画を元に基本設計を行いたい。次に実施設計を行い費用の積算を行う。その後の工事着手となるため相当な時間がかかると思われる。